

公費助成の対象年齢を拡大しては 「戸田市独自の補助は考えていない」 三輪なお子議員

B型肝炎ワクチン

議員 B型肝炎ワクチンについて10月からの開始では、任意接種から移行期間に誕生した乳児について、無料で接種できる期間が短くなる。来年度に限り、1歳になっても公費助成の対象となるよう年齢を拡大してはどうか。

福祉部長 対象者は、予防接種施行令で規定



議員 B型肝炎ワクチンについて10月からの開始では、任意接種から移行期間に誕生した乳児について、無料で接種できる期間が短くなる。来年度に限り、1歳になっても公費助成の対象となるよう年齢を拡大してはどうか。

されている者を予定しており、拡大は考えていない。定められた期間内に予防接種を行っていただくよう周知・支援に努める。

議員 ①笹目橋の上流（早瀬2丁目地先）整備の概要と対策時期は②緊急時の対策は。

都市整備部長 ①笹目



笹目橋上流（早瀬2丁目地先）

橋の上流部、戸田市側堤防の高さが他の場所に比べて不足している状況。堤防を管理する国は、当該箇所対策として、堤防の高さを満足させるため盛土などを実施する予定。笹目橋の管理者との協議が整い、予算の確保ができた後、実施②国が近傍に備蓄している大型土のうを運搬し、堤防の不足している場所に設置。市としては台風などの際に、職員や

水防団員による荒川の水位監視、堤防巡視等実施するとともに、国からの情報収集をしながら災害対策に努める。

その他の質問

Q 家具転倒防止器具設置事業の拡充を。
A 多方面からの検証を行い、事業の拡充に向けて研究する。

地域力向上

町会加入促進・地域行事へ参加者増加を図れ

「加入率57・1%有効な方策を研究」

三浦芳一議員



議員 特防犯対策には、地域で眠っている人材を発掘・結集し、地域力向上のため、町会加入促進・地域行事への増加を図れ。

市民生活部長 町会加入率は現在57・1%と低下傾向。町会加入促進につながるポスターなどのツールの作成等、有効な方策を研究・検討



市民体育祭地区大会

ごみ出しのルールの周知・徹底を

議員 特に外国人へのルール、マナー、分別の周知・徹底を図れ。
環境経済部長 新たな言語を加えたパンフレットの作成、共同住宅の管理責任者等へ注意、お願いをしていく。

討していく。

薬物乱用とアルコール依存症の現状と対策は

議員 薬物中毒は人を3回殺す。最初は頭、次に心、最後に肉体。アルコール依存症も100万人と増加。どちらも家庭崩壊につながる。防止策の徹底を。

福祉部長 予防の観点から、飲酒に伴うリスクの保健指導や健康教育、ポスター掲示、パネル展示、相談体制の

充実で防止を図る。

運転免許証自主返納者に対して特典を

議員 免許自主返納者に対して特典を考へべき。tocoバス料金の半額などどうか。

市民生活部長 近隣市の状況等も勘案し、今後、インセンティブのあり方を研究していく。

自転車事故を防ぐ 対策の強化を 「要望に応えられるよう実施する」 竹内正明議員

交通安全対策



議員 昨年、道交法が改正され、罰則も強化されたが、現在も自転車関連事故が多い。対策は。

市民生活部長 毎年、自転車安全利用対策実施計画を策定。「毎月10日の自転車安全利用の日」を中心に、街頭啓発活動、また保育園や小中学校での交通安全



夏の交通事故防止運動キャンペーン

教室等を実施している。

議員 市民から危険や不安を感じているとの意見が多い。交通ルールの周知や運転マナー向上の啓発、危険地帯への注意喚起看板や自転車レーンの設置など自転車事故を防ぐ安全対策の強化を。

市民生活部長 警察や市民との協働により積極的に啓発活動を展開し、道路への安全対策、

tocoバスの運行改善を

交通安全に対する情報提供も行っていく。市民の要望にできる限り応えられるよう対策を実施していく。

議員 ①川岸循環で福祉保健センターへ②南西循環で「泉宮戸田公園停留所」で折り返した後に戸田公園駅へ。以上のルートの整備をしてほしいとの意見が

市内3駅にホームドアの設置を

議員 安全対策のため再度JRにホームドアの設置を要望すべき。

市民生活部長 今後も継続して要望していく。

健康長寿

埼玉モデル新規参加の事業概要は

「従来の手法を継続する」

石川清明議員



議員 健康長寿埼玉モデル新規参加の事業概要は。4つの生活

習慣改善、体重の記録及び一日一万歩の達成状況に応じてポイントをため賞品を獲得するという、従来の手法を継続する。実施期間中には筋力トレーニングや食生活習慣改善に向

けた教室を開催し、参加者が取り組みを継続できるよう支援する。期間は6カ月、参加人数は300人を想定。

議員 募集と周知は。

福祉部長 市広報、市ホームページに事業内容や申し込みに関する記事を掲載、町会の掲示板、公共施設、一部の金融機関等に、ポスターやのぼり旗などを設置し、広く市民に情

報発信した。

議員 課題と目標は。

福祉部長 働き盛りの若い世代の健康に対する関心や取り組みが十分でなく、生活習慣による疾病が増加している。目標は、若い世代の参加を増やし、多くの市民に、この事業をきっかけに自分の生活を振り返り、良い生活習慣を継続できるように支援する。

その他の質問

Q 携帯版「心肺蘇生の手引」を作成しはどうか。
A 今後、記載内容について検討した上、実施に向け、取り組みたい。



リズム体操発表会（主催：社会福祉協議会）